



平成21年度9月定例議会終わる



「公共交通は赤字経営でも公的支援」知事が明言

9月の定例県議会は、国体が26日から開催されるため、2日に開会して18日に402億円の補正予算ほかを採決して終了しました。8日には小島議員は5回目となる一般質問を行いました。質問内容は、①交通政策について、②原発立地の利活用について、③観光政策について、でした。主な質問の答弁は次のとおりです。

質問：新潟空港の利用状況が年々悪くなっているが対策は如何。

答弁：新潟空港を基点に独自の空港のネットワークの充実を図る。

質問：日本海横断航路への県の支援は。

答弁：韓国側が主導権をにぎる形では先ず韓国

側の責任を持った運営が必要。県としてはどうしたらこの航路が安定するか枠組みのあり方を含めて様々な可能性を探る。

質問：新潟空港への新幹線乗り入れについて今後どう進めるか

答弁：これまでは公共交通は黒字の経営を原則にしてきたが、今後の公共交通は赤字でも公的支援すべき。新幹線乗り入れも、今年度から事業化に向けた本格的な検討に着手しており、県民の合意形成を図りながら、実現を目指す。

質問：原子力と県内産業との共生をどう進めるか

答弁：原発関連産業については、今後の成長が期待できる。エネルギー関連分野への県内企業の参入や販路拡大を支援していきたい。

質問：大観光交流年を一過性のものにしなないための来年以降の取り組みは如何。

答弁：リピーターの確保に向けて満足度の向上など、持続力のある観光地づくりを進める。北陸新幹線の延伸（2014年）を見据えて広域的な観光連携に取り組む。

その他の質疑および詳細については後援会事務所までお問合せください。



※後援会事務所は「観光まちづくり」のため古町通のベロタクシーと同じ場所にあります。いつでもお気軽にお立ち寄りください。

〒951-8063 新潟市中央区古町通二番町531番地

小島たかし後援会事務所

電話：025-224-2505

FAX：025-224-2507

Email: kojima.t@ray.ocn.ne.jp

<http://www.kojima-niigata.com/>

新潟の新公共交通をつくる市民の会発足 LRT、モノレールが走る日が来る？

9月12日に150名余の市民の参加をえて「新潟の新公共交通をつくる市民の会」が設立されました。これは、主として「交流人口拡大研究会（会長与田一憲小島後援会会長）」が中心となって昨年来準備を進めてきたもので、



将来の新潟市への軌道系の公共交通（路面電車、モノレール）などの導入にむけた市民運動を主導するための組織です。

広がった市域をネットワーク化し

車に過度に頼らない、また環境や高齢化社会にやさしい、あるいは中心市街地がにぎわい、市民全てが潤いのある豊かな生活を満喫できるまちになる。

そんな新潟の将来を夢みて、この会の活動を支援し拡充を図っていきたくと思っています。そこで本会ではただ今会員募集中です。多くの皆様の参加をお待ちしています。

年会費：個人会員2000円、学生会員1000円、法人会員5000円

申し込み先：小島事務所FAX025-224-2507へご連絡ください。振込先などこちらから連絡いたします。

5月26日後援会総会、講演会開催

小島たかし後援会の総会、後援会がさる5月26日イタリア軒で開催されました。後援会総会に引き続いて、シンクタンク藤原事務所主宰経済評論家「藤原直哉」先生の“現下の政治経済情勢”と題した講演が行われました。当日は会場満員の参加者があり、引き続いて行われた懇親

会では小島議員を囲んで和やかな歓談が続きま



第64回国民体育大会開催

9月26日より天皇陛下在位20年記念第64回国民体育大会が開催されました。小島議員は大会役員として各会場の応援に駆けつけています。



ナント視察ツアー募集中

「新潟の新公共交通をつくる市民の会」企画のフランス、ドイツ路面電車現地事情視察のためのツアーの参加者を募集中です。11月11日（水）から16日（月）の4泊6日間、フランスのナント市、ストラスブール市、ドイツのフライブルグ市



を訪れます。費用は21万3千円。小島議員も参加予定です。お問合せはJTB関東新潟支店025-224-5478（担当：倉谷）まで